

1. 三重大学COEプロジェクト(20年度継続分)

①世界に誇れる世界トップレベルの研究拠点(平成16年度～20年度まで)

区 分	部 局	研 究 題 目
5年間	医学系研究科	炎症性血管病変による臓器障害機構の解明とその修復再生治療法の開発 (代表者 教授 鈴木 宏治)
	工学研究科	未来エネルギー・コミュニティの成立工学 ー自然由来資源活用の自立分散発電システム社会に向けてー (代表者 教授 石田 宗秋)
	生物資源学研究科	化石エネルギーに依存しない人間社会の構築・その具体化に向けての実証研究 (代表者 教授 久松 眞)

②学部として育てたい国内トップレベルの研究(平成16年度～20年度まで)

区 分	部 局	研 究 題 目
5年間	人文学部 300万円/年	四日市公害問題の再評価と国際環境協力(四日市学)を通じた総合環境研究 及び環境教育拠点づくり (代表者 教授 朴 恵淑)
	教育学部 300万円/年	感性システムの構造化とそれを基盤としたアクションリサーチ的アプローチの可能性の探求 ～「感じる力」を培う教育モデルの開発に向けて～ (代表者 助教授 根津 知佳子)

③学部として育てたい若手研究(平成20年度)

区 分	部 局	研 究 題 目
1年間	医学系研究科 200万円/年	ES細胞を用いた中杯薬から血液細胞への分化誘導因子の同定 (代表者 講師 山根 利之)
	工学研究科 200万円/年	ナノ構造制御によるデバイスの創製～カーボンナノチューブのスピントロニクス デバイスへの応用～ (代表者 准教授 佐藤 秀樹)
	人文学部 100万円/年	三重県と連携した戦略的CSRの研究 ～20世紀の延長線上にない21世紀型 産業政策の提案～ (代表者 准教授 青木 雅生)
	教育学部 100万円/年	発達障害の可能性のある学生の実態調査とその教育的ニーズ支援システムの 開発に向けて (代表者 准教授 赤木 和重)
	生物資源学研究科 100万円/年	アンチエイジングモデルフィッシュの構築と抗酸化バイオイメージング (代表者 講師 柴田 敏行)